



NPO「チームサセボ」の合気道・ヨガの会で、受け身の練習をする子どもたち 県立武道館

広報
No.633

させぼ



広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集 ボランティア活動で
生きがいづくりとまちづくり 2~5p

今月の主な内容

- 定例市議会、市機構改革、市職員採用試験 6~9p
- 市民の広場、精霊流し 10~11p
- イベント、施設だより 12~13p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 22~23p
- 九じろうの取材日記 24p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



平戸往還(街道)早岐一里塚跡で説明を聞く参加者(早岐一丁目の商店街)

九じろうの取材日記

郷土史体験講座
早岐地区史跡体験ツアー

7月5日、市教育委員会主催の史跡体験ツアーが開催されました。早岐、花高、大塔小学校の児童など約百人の参加者は、早岐支所に集まり、早岐地区の旧平戸往還(街道)や、江戸・明治・昭和初期に建てられた古い建物を見学しました。



最初に訪れた早岐一丁目にある早岐駅は、明治30(1897)年、武雄・早岐間に鉄道が開通したときに建てられ、現在まで残っています。明治時代の近代建築として洋風舎の特徴を残す貴重な建物で、佐世保では一番古い駅舎です。次に、早岐駅前にあり、昭和初期に建てられた渡辺歯科医院(写真左)の建物を見学しました。



早岐駅

佐世保で一番古い駅舎



旧商店(写真上) 早岐は古くから交通の要所であったため、大きな旧商店の建物が残っています。



旧早岐警察署(写真下) 明治時代に建てられたもので、留置所の赤レンガが外壁として残っています。

渡辺歯科医院から商店街に入り、江戸時代の主要道・旧平戸往還を歩いて大念寺(早岐二丁目)へと向かいました。平戸往還は、平戸街道とも言われますが、江戸時代に平戸藩主が参勤交代などで行き来したことから、「往還」と呼ばれています。途中、平戸藩主が宿泊した御本陣跡や、赤レンガの外壁が残っている旧早岐警察署の建物、西蓮寺西側に江戸時代から残る往還道の石畳などを見学しました。



大念寺の鐘楼山門 江戸時代の終わりごろの1850年に再建。寺の創建は1541年で、本堂は最新築されました。

最後に、大念寺の鐘楼山門に着きました。この山門(寺の門)は、江戸時代に再建され、鐘楼(鐘突き堂)と門が一つになった珍しい建物です。昭和54年に市の有形文化財に指定されました。早岐小学校の男子児童は、「歴史が好きなので参加しました。自分の町のことでは知らなかったことを、教えてもらってよかったです」と話してくれました。

編集長から一言

ある英会話サークルに30年近く所属していました。運営費はすべてで会費でまかなう自主運営。おかげで良い友だちにも恵まれ、人生に潤いをもたらしました。しかし、このような趣味的な活動を社会貢献度の高いものにするには、さらには何かが必要のようです。(エ)



広報 させぼ

8月1日発行

※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。